

津市監第229号  
令和3年10月19日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 大 西 直 彦  
津市監査委員 安 藤 友 昭  
津市監査委員 西 山 み え

令和2年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の令和2年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和2年津市監査委員告示第3号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

- 1 令和2年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 令和2年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 令和2年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見



令和 2 年度

榊原財産区会計  
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

## 凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
  - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
  - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

## 令和2年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

審査の対象は、令和2年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

### 第2 審査の期間

審査の期間は、令和3年9月8日から10月12日までである。

### 第3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

### 第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

#### 1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,411万5千円（表1参照）、歳出決算額は2,236万7千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

#### (1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,267万6千円である。

表1 歳入内訳表

（単位：千円・％）

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,549	22,676	94.0	100.6	23,369	93.3	△ 693	△ 3.0
繰入金	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	100	1,435	6.0	—	1,666	6.7	△ 231	△ 13.9
諸収入	2	3	0.0	150.0	7	0.0	△ 4	△ 57.1
計	22,652	24,115	100.0	106.5	25,043	100.0	△ 928	△ 3.7

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、財産費1,905万1千円、議会費171万7千円である。

表2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	1,768	1,717	7.7	97.1	1,551	6.6	166	10.7
総務費	432	419	1.9	97.0	657	2.8	△238	△36.2
財産費	19,053	19,051	85.2	100.0	18,375	77.8	676	3.7
積立金	908	908	4.1	100.0	2,325	9.8	△1,417	△60.9
諸支出金	406	271	1.2	66.7	700	3.0	△429	△61.3
予備費	85	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	22,652	22,367	100.0	98.7	23,607	100.0	△1,240	△5.3

2 財産に関する調書

財産の令和2年度中の増減高及び令和2年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和2年度末現在高は1,226万4,018平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和2年度中に2,082立方メートル増加し、令和2年度末現在高は12万9,778立方メートルである。

出資による権利については、令和2年度中の増減はなく、令和2年度末現在高は84万円である。

表3 公有財産の状況

区分		単位	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高	
土地	公共用財産(その他の施設)	m <sup>2</sup>	918	0	918	
	山林	直営	m <sup>2</sup>	1,860,307	102,676	1,962,983
		貸付	m <sup>2</sup>	10,402,792	△102,676	10,300,116
	合計		m <sup>2</sup>	12,264,018	0	12,264,018
立木の推定蓄積量		m <sup>3</sup>	127,696	2,082	129,778	
出資による権利		千円	840	0	840	

(2) 物品

物品は軽貨物自動車で、表4のとおり令和2年度中に増減はなく、令和2年度末現在高は2台である。

表4 物品の状況

(単位：台)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高
軽貨物自動車	2	0	2

## (3) 基金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表5のとおり令和2年度中に90万8千円増加し、令和2年度末現在高は3,614万4千円である。

表5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高
榊原財産区財政調整基金	35,236	908	36,144

## 3 まとめ

財産区の管理、処分等については、地方自治法第296条の5に規定する財産区運営の基本原則等に十分に配慮され、今後とも適正かつ効率的な予算執行に努められたい。





令和 2 年度

河内財産区会計  
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

## 凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
  - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
  - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

## 令和 2 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

### 第 1 審査の対象

審査の対象は、令和 2 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

### 第 2 審査の期間

審査の期間は、令和 3 年 9 月 8 日から 10 月 12 日までである。

### 第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

### 第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

#### 1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 37 万円（表 1 参照）、歳出決算額は 27 万 6 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

#### (1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額は、繰入金 27 万 8 千円、繰越金 9 万 1 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	525	278	75.1	53.0	234	74.8	44	18.8
繰越金	80	91	24.6	113.8	79	25.2	12	15.2
諸収入	5	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	611	370	100.0	60.6	313	100.0	57	18.2

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、議会費 20 万 3 千円、総務費 5 万 5 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	209	203	73.6	97.1	203	91.4	0	0.0
総 務 費	317	55	19.9	17.4	2	0.9	53	—
財 産 費	74	19	6.9	25.7	17	7.7	2	11.8
基金積立金	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
予 備 費	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	611	276	100.0	45.2	222	100.0	54	24.3

2 財産に関する調書

財産の令和 2 年度中の増減高及び令和 2 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和 2 年度末現在高は、土地が 13 万 278 平方メートル、建物が木造 1 棟 63 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 2 年度中に 348 立方メートル増加し、令和 2 年度末現在高は 2 万 3,794 立方メートルである。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高
土地	山 林	m <sup>2</sup>	130,278	0	130,278
建物	河 内 公 民 館	m <sup>2</sup>	63	0	63
立木の推定蓄積量		m <sup>3</sup>	23,446	348	23,794

(2) 基金

基金は河内財産区財政調整基金で、表 4 のとおり令和 2 年度中に 27 万 8 千円減少し、令和 2 年度末現在高は 373 万 5 千円である。

表 4 基金の状況 (単位：千円)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高
河内財産区財政調整基金	4,013	△ 278	3,735

### 3 まとめ

令和 2 年度は、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 75.1 パーセントを占めており、今後においても、歳入全体に占める繰入金の比率は高くなるものと考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

なお、新たな歳入確保については、引き続き検討を望むものである。

令和 2 年度

波瀬財産区会計  
歳入歳出決算審査意見書

津市監査委員

## 凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
  - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
  - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

## 令和2年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

審査の対象は、令和2年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

### 第2 審査の期間

審査の期間は、令和3年9月8日から10月12日までである。

### 第3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

### 第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

#### 1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は66万3千円（表1参照）、歳出決算額は58万7千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

#### (1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、繰入金45万円、財産収入14万3千円である。

表1 歳入内訳表

（単位：千円・％）

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	144	143	21.6	99.3	138	17.2	5	3.6
繰入金	544	450	67.9	82.7	428	53.3	22	5.1
繰越金	56	56	8.4	100.0	237	29.5	△181	△76.4
諸収入	1	14	2.1	—	0	0.0	14	0.0
計	745	663	100.0	89.0	803	100.0	△140	△17.4



## (2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 47 万 1 千円、総務費 11 万 6 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和2年度				令和元年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	535	471	80.2	88.0	481	64.5	△ 10	△ 2.1
総 務 費	160	116	19.8	72.5	265	35.5	△ 149	△ 56.2
予 備 費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	745	587	100.0	78.8	746	100.0	△ 159	△ 21.3

## 2 財産に関する調書

財産の令和 2 年度中の増減高及び令和 2 年度末現在高は、次のとおりである。

### (1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 2 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 2 年度中に 2,078 立方メートル増加し、令和 2 年度末現在高は 13 万 371 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 2 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高	
土 地	宅 地	m <sup>2</sup>	1,208	0	1,208	
	雑 種 地 ・ 原 野	m <sup>2</sup>	887	0	887	
	山 林	直 営	m <sup>2</sup>	1,007,522	△ 1,166	1,006,356
		貸 付	m <sup>2</sup>	18	1,166	1,184
	合 計		m <sup>2</sup>	1,009,635	0	1,009,635
立木の推定蓄積量		m <sup>3</sup>	128,293	2,078	130,371	
出資による権利		千円	586	0	586	

### (2) 基 金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 2 年度中に 44 万円減少し、令和 2 年度末現在高は 1,229 万円である。

表4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度中増減高	令和2年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	12,730	△ 440	12,290

### 3 まとめ

令和2年度は、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の67.9パーセントを占めており、今後においても、同基金からの繰入金を必要とする状況が考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

なお、新たな歳入確保については、更なる検討を望むものである。